

6月8日 入学ガイダンス／未来の子どもたちへ 仲間とつなぐ高槻の環境



- 中瀬先生の講義、とてもわかりやすく、楽しく受講することができた。高槻の身近な場所で、貴重な植物があること、すごく勉強になった。今日からの高槻の景色の見方が変わった。
- 高槻の地で、身近な植物で外来種等の花の名前を知ることになったが、日頃よく目にしている花だったので、知ることは大切だと感じた。これから知らなかったこと少しずつだが、学んでいきたい。
- 高槻の歴史や寒天の話がおもしろかった。電柱の地名が昔の呼び方で使われていることなど知らなかった。テーマを持って歩くとおもしろいと言われていたので、ただ歩くだけでなく楽しみながら歩きたいと思う。

6月15日 自然と親しむ／自然に親しんで五感を取り戻そう



- 自然風景において、景勝地よりも人々の営みによって作られた里山等に魅力を感じるという先生の考え方に同感する。
- 見なれた木もあらためて聞くと、もっと調べてみようと思った。
- 楽しかった!! 色々名前や種類を教えてくださいましたが、ほとんど憶えられないですが、1回に1つでも憶えようと思う。

6月22日 芥川・淀川水系の魚たち／アユの遡上を確認しよう



- 数十年ぶりに川に入り、楽しい時間を過ごすことができた。芥川の自然がまだ残されていることが実感できてよかった。
- 水グループのみなさんをはじめ、市民の多くの労力で芥川が守られているのを知った。あまり知られていないことなので、もっとみんなが知る機会があってもいいなと思った。川に入る実習はあまりに魚が獲れなくてへこみそうになったが、楽しかった。
- どの様にしてワンドが失われていくのかがよく分かった。イタセンパラの生態は不思議な上、とても衝撃的だった。

7月13日 市民、地域主導による再生可能エネルギー普及／脱炭素に向けた企業の取り組み



- 今まで人ごとのように思っていた脱炭素。国や企業の問題かと思っていたら、私達市民が考えていかななくてはいけない問題だとわかった。
- 地球温暖化が深刻になっていて、再エネが世界から遅れている国だと知った。日本で有効利用できる資源やエネルギーがたくさんあると感じた。今年省エネのために住宅リフォームするベランダに緑を増やしたり、できることから考えたいと思う。
- 身近な事として日本人1人あたりの二酸化炭素排出量が多いと知り、日常生活の中で考えながら生活できると良いなと思った。

8月10日 市内の環境保全活動団体の紹介①／受講生交流



- 各保全団体のお話を聞かせて頂き、高槻の自然や環境に市民もかかわって保たれていることが分かった。
- 高槻にこんなに多くのボランティアグループがあることを知り驚きだ。修了後はどこかで活動したいと思う。
- 話したことのない方々と話す時間が持てて良かった。少し親しくなれたように思う。
- クイズで楽しくごみ処理問題を学んだ。

8月17日 私たちの暮らしとマイクロプラスチック／エネルギーセンターの見学



- 実際に地域で活動をリードしてその様子をイキイキと語ってくださる人柄にとっても好感を持った。身近なところで発想の変わり方ひとつで素晴らしい活動につながるのがよく分った。亀岡素晴らしい!!
- 講座を受け、こんなに身近なプラスチックが、川や海、生き物に影響があるのだと知りショックを受けた。
- 工場の規模の大きさ、ごみ焼却量の多さに驚かされた。ごみ焼却からエネルギー再利用が有効になされているのが理解できた。

8月31日 細胞の不思議／JT生命誌研究館の見学



- 昔見た映画、「ミクロの決死圏」を思い出した。体内という宇宙をさまよっているような・・・永田館長の講和に引き込まれた。
- サイエンスは本当を知りたいという思いが必要という言葉は以前同じような話を聞いたが、改めて再認識した。細胞が1年で99%入れ替わる等知らないことだらけで今回は頭がパンクしている。
- 説明者の方の話が大変面白く興味深かった。展示品が今まで見たことのないようなものが多くとても良かった。日本で唯一のJT生命誌研究館と知り、市民として誇らしく思った。

9月7日 植物が見せる不思議な世界／多様な水草の世界を知ろう



- 標本100年以上残す。過去現代未来のために資料を添えて残す必要があることを学んだ。生態系を壊す外来種について学び駆除する必要性を知った。植物の分類は難しいと思った。
- 普段、何気なく通っている道端にとっても可愛い花や草がたくさんあることを知った。これから少し意識して歩いてみたい。
- 水路で手にとり観察ができ、虫メガネを通してみると草たちが驚くほど生き生きとした生命を感じた。

9月14日 芥川の水質と生物／水生昆虫から水質を知る



- 人口増加時の水質汚染、その改善に30年を要したことなどを聞き、現在の清流を守れるよう自分のできることを実行していきたいと思った。
- 最近の気候変動で自然を守ることが難しくなっているが、高槻の自然保護、川の清流を守るためにも水中生物の見守りが必要と思った。水の保全にも力を注がれている方に感謝。
- 汚染されていた芥川を知らないの、人々の努力により今の清流がよみがえったと聞き驚いた。生き物が消滅するのも存続するのも人間次第ということに、地球に対する人類の責任は如何に大きいかをつくづくと感じる。

10月1日 クモから見た虫と自然／クモを探そう



- 今までのクモに対する認識が全く変わった。これからはクモを排除せず見守っていこうと思う。
- 新たなことを学んだ。目が単眼で8個。糸を出さないクモはいないが、網を張らないクモがいる。クモの毒で人は死なない。クモの糸は光を反射しない。
- 先生のクモへの愛情がよく伝わった。(先生がクモのことを「あのヒト」と呼んでいたのが新鮮であった) まるで少年のような、いえ少年そのものの先生の目の輝きを一心に感じながら歩いた。皆さんも少年少女のようだった。

10月5日 高槻の最北の檜田を歩こう／高槻市の森林と台風被害からの復旧



- 森の散策、とても楽しかった。先生の言うように、名前を知ればもっと楽しい。→納得だ。少しずつ樹木や草花の名前を覚え、次は檜田を散策したい。
- 個人所有の山の多くが、ほとんど手入れがされず、負の遺産になっていることを知り、日本全体で取り組まなければならない問題であると感じた。
- 山歩きをしていると、植林後放置されている森林の何と多い事か。そのような状況になった原因、現況、今後についての問題等、多岐に渡るお話しを聞け、大変有意義だった。日本の美しい森林は、世界から賞賛され誇るべきものだが、永遠に残すため出来る事は何だろう。

10月12日 世界の財産 鶺鴒のヨシ原／ヨシ原を観にいこう



- 鶺鴒ヨシが雅楽にとって貴重で、守っていく必要があることを学んだ。ナガエツルノゲイトウが新たに鶺鴒エリアで見つかり、早期発見駆除の必要性を学んだ。
- ヨシ焼きは昔から知っていたが、いろいろ困難を乗り越えて来ているのがよくわかった。ヨシ原の存続は大事だが、周辺の理解が大切だと思う。
- ヨシ、オギ、セイタカヨシ、この講座で見分けられるようになった。
- 鶺鴒のヨシ林に入れて大感激でした。小さな可憐な花が多かったことが印象に残りました。葉っぱは苦い。ビビッときました。おもしろかった～！

10月26日 生物多様性保全と里地里山／里地里山の現状を知ろう



- 子どものころにあった身近な植物が絶滅危惧種と考えられていることに改めて、環境保全の重要性を認識した。講義のテンポがよく時間が短く感じられた。
- 動物や植物がバタバタ減んでいく状況で人間は生きていけないこと。里山放置林を多様性夏緑高木林/多面的機能林（環境・減災・文化林）へ誘導することを学んだ。
- やはり体感することの大切さを実感した。山椒の実の味や舌先のシビレは忘れられません。
- 高槻は町のすぐ近くに豊かな自然が残っていることを再確認した。里山の今後について、真剣に考えなければならない。

11月16日 外来種問題 何が困るの？／ナガエツルノゲイトウの駆除



- 考え方が根本的に変わった。いかに“知らなかった”かということのだ。「鶉殿」に行ったときは、「外来主だって生きていだろう」と思っていたから。
- 問題の多い、難しい問題だと思った。「命」の問題の重みは大変だ。
- 繰り返しの努力が大切なこと、あきらめないことが大事と思った。
- 駆除作業は大変であったがよい経験になった。またこのような機会があったら参加したい。
- 草の生命力のすごさを実感した。特にナガエツルノゲイトウは強すぎる！

12月7日 市内の環境保全活動団体の紹介②／都市公園の樹木を知ろう



- どの会も具体的な活動内容を伝えていただきよく分かった。ビジョンを持って活動するのは大事だと思った。楽しく長くやれそうな団体に入りたい。
- 「生き物を通して環境を知る」は環境大学で正しく学んだことだ。本日の活動団体の紹介を参考にし、自然を通して完成を育み、微力ですが社会貢献には役立てて自分の人生を豊かにしたい。
- 公園に種々の樹木があり驚きだ。公園図に樹木と番号が付されていてわかりやすく表示されていた。この資料をもってまた来る。花の季節にも訪れたい。

1月11日 身近な鳥たちの生態／バードウォッチングをしてみよう



- 鳥の魅力を存分に教えて頂きました。とても面白かったです。これからはスズメもカラスもよーく見ます。
- スズメやカラスなど身近な鳥の説明を詳しくして頂いてよく分かった。高槻でも100種は見られると聞き、探してみようと思う。
- 説明していただくとよく分かりました。これまで“鳥”とざっくり見ていましたが、丁寧に見ようと思いました。ありがとうございました。
- どの鳥も美しい。カワセミの青（るり色）は美しかった。

1月25日 北摂地域の地形と地質／河原の石から地質を知ろう



- 自分の住んでいる地域の地形や地質について学べるとは思っていなかったのが大変良かった。地震への備えの必要性を再認識した。
- たかが石ころ、されど石ころ。これからはよく観察する。
- 庭の石にも興味がわいた。「大地の履歴書」とうことにも。
- 岩石の講座は初めてだったが、とても興味を持った。より深く勉強していきたい。いけず石の話も楽しく、身近なところに土地の歴史があるのを感じた。

2月8日 環境活動の輪を広げる／ワークショップ



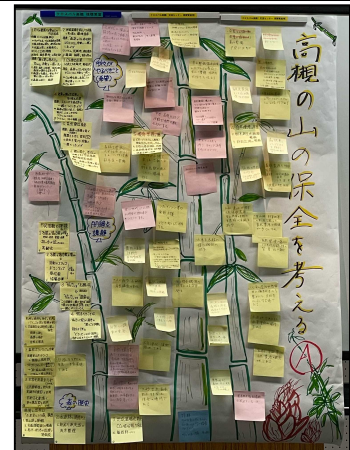
- 今後の活動をしていくうえで、具体例を中心にわかりやすく話してもらえた。
- 今回の講座は今までこの大学の講座で勉強した知識をどう活かすかというノウハウやテクニックを教えてもらえ、今後どうしたらいいのか考えるいい機会になった。
- 他班の方の発表もよく、3つのテーマについて理解が深まり、初めての方とコミュニケーションを取れて楽しかった。
- 事前に家で考え、当日もワイワイ話し合いながら楽しく考えながら実施できた。

12月14日 <自主観察会>兵庫県立 人と自然の博物館

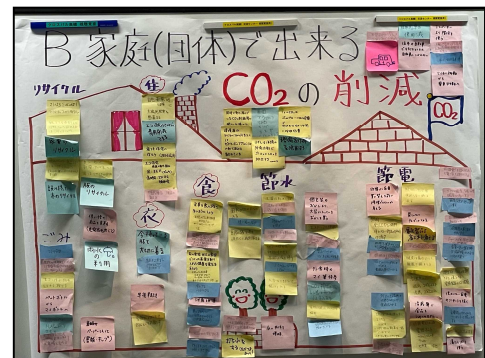


2月8日 ワークショップ

Aグループ テーマ：高槻の山の保全を考える



Bグループ テーマ：家庭（団体）でできるCO2の削減



Cグループ テーマ：マイクロプラスチックの削減

